



日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18
電話03-3431-2822 FAX 03-3434-5698
E-mail:st-andrew.tko@nssk.org
電話礼拝 03-3431-0250
Web:http://www.st-andrew-tokyo.com

(週報掲載/Web 動画配信中)

聖霊降臨後第8主日

2021年7月18日

礼拝案内

礼拝参加にあたって

※教会ホームページより動画で配信されています。映像に映りたくない方は、係にその旨お伝え下さい。
※歌いまたは唱えるところは、小声で、または心の中で唱えます。
※マスクを着用し、礼拝中、席の移動はお控え下さい。
※体調や、気分の不調のときは、遠慮なく係にお申し出下さい。

＋午前7時30分 聖餐式

聖歌 401 243 475

司式・説教：主教 高橋宏幸

＋午前9時15分

こどもとともにささげる礼拝 (参加者限定)

聖歌 375 267

＋午前10時30分 聖餐式

司式：司祭 下条裕章

入堂聖歌 401

清めの祈り 1頁(162頁)

キリエ 2頁(163頁)

大栄光の歌 3頁(164頁)

特祷 (特定11)

恵みと憐れみを賜るとき、ことに全能を現される神よ、豊かな慈しみをわたしたちに与え、あなたが約束されたものを目指して走り、ついに天の宝にあずかる者としてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

み言葉

旧約聖書 イザ 57章 14b-21節

詩篇 第22編 23-31 (週報4面)

使徒書 エフェ 2章 11-22節

福音書前聖歌 375

福音書 マコ 6章 30-44節

説教 司祭 下条裕章

ニケヤ信経

<諸報告>

代祷 (代祷項目週報2面) 12頁(168頁)

懺悔 13頁(170頁)

聖餐

平和のあいさつ 15頁(171頁)

奉献聖歌 243

奉献の祈り 15頁(172頁)

感謝・聖別 [I] / [II] 16(173/176)頁

陪餐にあたって

※マスク着用のまま、お互いの距離をとり、案内に従って座席後方の通路を経て中央通路を聖卓に進みます。※祝福を希望される方も同様に進みます。(順次ご案内しますのでしばし着席のままお待ちください。) ※陪餐の直前にマスクを外し、手指を消毒します。 ※手のひらで、司祭からパン、またはぶどう酒に浸したパンを受けます。 ※マスクを着け(必要があれば手指を消毒し)席に最も近い通路部分を通して席に戻ります。

陪餐聖歌 355

陪餐後の感謝 28頁(182頁)

祝福 28頁(183頁)

派遣

退堂聖歌 475

＋午後5時 夕の礼拝

詩 103 ヨシュ 6:14b-27 マタ 25:14-30

聖アンデレ教会にはじめて来られた方へ

ようこそ教会へお越しくださいました。歓迎します。お聞きになりたいこと、分からないことなどありましたら、受付担当者までお声がけください。洗礼・堅信を受け、陪餐の許しのある方は、パンとぶどう酒をいただきます。また他の教派の教会で洗礼を受けて聖餐に与っている方の陪餐を許可し歓迎します。

本日の代祷 <敬称略>

I わたしたちの教会 - 全公会のため

聖アンデレ教会 (フランシス下条裕章司祭)
教会の諸活動、教会に関わる諸団体の働き
信徒・教役者 (スザンナ中村真希聖職候補生、
トマス日高馨輔執事) の宣教・奉仕の働き
東京教区 (フランシスコ・ザビエル高橋宏幸主教)
聖アンデレ主教座聖堂、 教区事務所、
聖オルバン教会 (カスリーン・カリネイン司祭)、
千住基督教会、
下町教会グループ (協議会、 牧師協議会)
東日本宣教協働区 (北海道・東北・北関東・東京教区)
各教区と宣教協働委員会の働き
北関東教区のすべての教会、施設の働きのため
日本聖公会 (首座主教ルカ武藤謙一主教)
横浜教区 (イグナシオ入江修主教) の信徒・教役
者、すべての教会・施設の働き
アメリカ聖公会メリーランド教区
(ユージン・テラー・サットン主教)
ボルチモア 聖三一教会
ボルチモア メモリアル教会
エルサレムおよび中東聖公会
(ホサム・ナウム大主教)
ベイルート 近東神学校
全世界の聖公会
(ジャスティン・ウェルビー カンタベリー大主教)
ルワンダ聖公会
日本キリスト教協議会 (NCC) の働き
ドイツ語福音教会
NCC ドイツ語圏教会関係委員会

II 正義と平和の実現のため

日本国とアジアの諸国の人びと
世界各国・地域の指導的立場の人びと

III 隣り人のため

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの
家族、友人、同僚、心にかけている人びと
愛と正義と平和の実現のために働く人びと
困難な人びとを支える働きのため、浅草聖ヨハネ
教会日曜給食活動に関わる人びと
洗礼、堅信、初陪餐、結婚の準備をしている人、
また入信の志願者が与えられるため
聖アンデレ教会に連なるすべての人びと
この地域で生活し、働いている人びと
今月の代祷・信施奉献先
・聖公会八王子幼稚園のため (光の子ども学園)
・名古屋学生青年センターのため
・滝乃川学園のため

IV 困難な状況にある方々のため

感染症の収束のため、また療養中、困難や悲しみ
の中にある人びと、医療と看護、支援に携わる人
びと
震災や風水害、世界各地の自然災害の被災者、ま
た原子力発電所事故の被災者
戦争や暴力、犯罪や差別、また軍事基地の存在の
ため、いのちの危険を感じている人びと
自由を奪われ、拘束されている人びと
住む場所を追われた人びと

病床にある方々を覚えて <50音順>

V 逝去記念

本日・今週の予定

18日(日) 聖霊降臨後第8主日(特定11)
7時半 聖餐式
9時15分 こどもとともにささげる礼拝
10時半 聖餐式
17時 夕の礼拝

13時半 教会委員会 (ZOOM)

19日(月) 7時半 礼拝
出 14:5-18 詩 136:1-4,10-15 マタ 12:38-42
※中村聖職候補生定休

19時 教役者研修会 (下条・中村)

20日(火) 7時半 礼拝
出 14:21-15:1 詩 105:37-44 マタ 12:46-50

21日(水) 出 16:1-5,9-15 詩 78:17-31 マタ 13:1-9
10時半 教区レクイエム
※午後下条司祭定休

22日(木) マグダラの聖マリヤ日
7時半 礼拝
ユディ 9:1,11-14 詩 42:1-7
2コリ 5:14-18 ヨハ 20:11-18

8時 洗礼準備

23日(金) 7時半 礼拝
出 20:1-17 詩 19:7-11 マタ 13:18-23

10時 納骨式
17時 常置委員会 (下条)

24日(土) 7時半 礼拝
出 24:3-8 詩 50:1-6,14-15 マタ 13:24-30

9時半 納骨式
13時 納骨式

※主日午前中、週日の礼拝は「聖餐式」または「みことばの礼拝」を用いて行なわれます。

25日(日) 聖霊降臨後第9主日(特定12)

7時半 聖餐式
10時半 聖餐式
王下 2:1-15 詩 114
エフェ 4:1-7,11-16 マコ 6:45-52
入堂聖歌 448 退堂聖歌 308
17時 夕の礼拝

13時 城南教会グループ協議会 (ZOOM)

<お知らせ>

- ◇ 7月25日より、「日曜日午前中の礼拝の公開は休止」となります。詳しくは別紙案内をお読みください。
- ◇ 聖堂の扉は、日中(朝8時頃から夕方5時頃)開いています。個人の祈りや黙想が可能です。
- ◇ 聖堂の様子は、動画配信されています。教会ホームページの一番下、「聖アンデレ教会のいくつかの礼拝をこちらで配信しています」の「こちら」をクリックすると見ることができます。
- ◇ 主日・週日の礼拝は、上の動画配信のほか、礼拝電話(03-3431-0250)から音声を聴くことができます。
- ◇ 「週報」をメール(またはFAX)で受け取れることを希望される方は教会までご連絡ください。(教会ホームページには毎週掲載されています。)
- ◇ 教会連絡網への登録をお願いします。メールでの連絡(お知らせ、訃報等)をご希望の方は st.andrews.tokyo.office@gmail.com へ、(FAXで連絡をご希望の方は教会FAXへ)お名前と連絡先をお知らせください。
- ◇ 住所・連絡先に変更があるときは、教会まで早速ご連絡ください。
- ◇ 聖アンデレ教会広報チャンネルでは、現在様々な企画を配信中です。6月からは「今、福音に聴く—マルコによる福音書の通読とメッセージ」が随時配信されています。日々の信仰生活にお役立てください。

聖アンデレ教会広報チャンネル



<https://youtu.be/HoJyQiXqSC4>

- ◇ ご家族・少人数での記念式や礼拝参加、牧会訪問、自宅や病床での陪餐を希望される方は教会までご連絡ください。

詩編 第22編 23-31

23 主を畏れる者は神をたたえ、ヤコブの子孫
はみな主をほめよ // イスラエルの子孫はみ
な神を畏れよ
24 神は悩む人の苦しみを軽んぜず、いとわれ
ず // 顔を背けることなく、その叫びを聞
き入れられた
25 神の恵みによって、民の集いで賛美を献げ
// 神を畏れる人びとの前で、わたしは誓い
を果たす
26 貧しい人は糧に恵まれ、神を求める人は主
をたたえる // いつまでもあなたがたの心

は生きるように
27 遠く地の果てまで、すべての者が主に立ち
帰り // 諸国の民は神の前にひざをかがめる
28 わたしたちの国は主のもの // 神は諸国を
治められる
29 地の中に眠っている者もみな主をあがめ //
塵に帰る者も皆み前にひれ伏す
30 わたしは神のために生き、子孫は神に仕え
る // 彼らは主のことを次の世代に語り継ぎ
31 後から生まれてくる民に // 神のみ業、そ
の救いを告げ知らせる

今週のメッセージ

使徒たちが、もしかしたら12人より多くの弟子たちが、イエスの使信を携えてあちらこちらの町や村に派遣されていました。そして彼らは、イエスのもとに帰ってきました。彼らの働きは時に感動を呼び、また時に反発と非難を浴びることとなったでしょう。喜びも悔しさも悲しみも、そしてもしかしたら憤りをも含んで、彼らはその働きの様子を主イエス伝え、またお互いに知らせ合おうとしていたに違いありません。

しかし、イエスのこれまでのお働きと、弟子たちの宣教の甲斐もあって、相変わらず彼らの周りには多くの人びとが集まっていました。イエスは言います、「まるで飼い主のいない羊のようだ」と。

人びとはその生活の中で、飢え渴いていたのです。み言葉を聞くことに、神の御心に触れることに、導いてくれる者の光に、そして平和と正義が実現する社会に、そして自らの心と体を癒し力づけ、御心に従って歩みだす力とに。主イエスは、悔い改めて福音を信じるようにと、その群衆に語りかけます。

そしてさらに、食事をする暇もなかった弟子たちに向かって、集まった人々のために食べ物を用意せよと言われます。その費用はざっと見積もって、100万円か200万円ほどかかりそうです。とてもそれは無理。弟子たちはそう思ったのではないのでしょうか。あちこちに出かけて行って、また戻ってきても忙しくし、なのにイエスはこの食事まで用意せよとおっしゃいます。踏んだり蹴ったりです。(昔この言葉はおかしいとの説明を聞いたことがあります。踏んだり蹴ったりならつらくない。正しく言うなら「踏まれたりけられたり」じゃないかと。集まった皆で大笑いしました。)

しかしイエスは、弟子たちを試そうとしてこういったわけでも、ましてや弟子たちの状況を把握することなくこういったわけでもないだろうと思います。それよりも、疲れ、飢え乾いている者であっても、神の癒しの時を通して、疲れと飢え渴きとを知る者として、人々の必要に応えようとする人・集団になれと言われていたのではないかと思います。

イエスの言葉に、また5000人以上に用意された食事の奇跡に、心身の飢え渴きを癒された人々は、受けて満足することにとどまるだけでなく、神の恵みと憐れみによって、そしてどんなときにもイエスとともに人々に仕えようとした弟子たちの姿に接して、彼らもまた主イエスの愛の使信を世に伝えるものとされてゆくのです。

司祭 フランシス下条裕章

以下のホームページもご利用ください。

聖アンデレ教会



<http://www.st-andrew-tokyo.com/web/>

聖アンデレ主教座聖堂



<http://www.anglicanacathedral-tokyo/>

日本聖公会東京教区



<https://www.nskk.org/tokyo/>